

ライザっ
もう
僕だめだっ

ええっ!
ちよつとは
根性みせてよ!

村での
退屈な生活を
紛らわす
娯楽なんて

これくらい
しかなかった

生きてて
恥ずかしく
ないワケえ!?

うう...

でるでる!
ライザ!
口開けてっ

おほ...
ライザの
ぺろぺろ
略して
ライペろ...

そんな
ある日――

君が
この村で噂の
痴女か！

ふん！
誰だか
知らないけど
いいよ！

手合わせ
願っても
いいかな！？

いやデカ

お手なみ
拝見させて
もらおう
じゃん！



おー無理

イキ死ぬ

なんだ
もうへばったのか？

ふー

とー

おい女！
俺と着いてこい！
オナホとして
仕えてやろう

いきま

姓女

商売ついでに
寄った
どうでもいい村
だったか

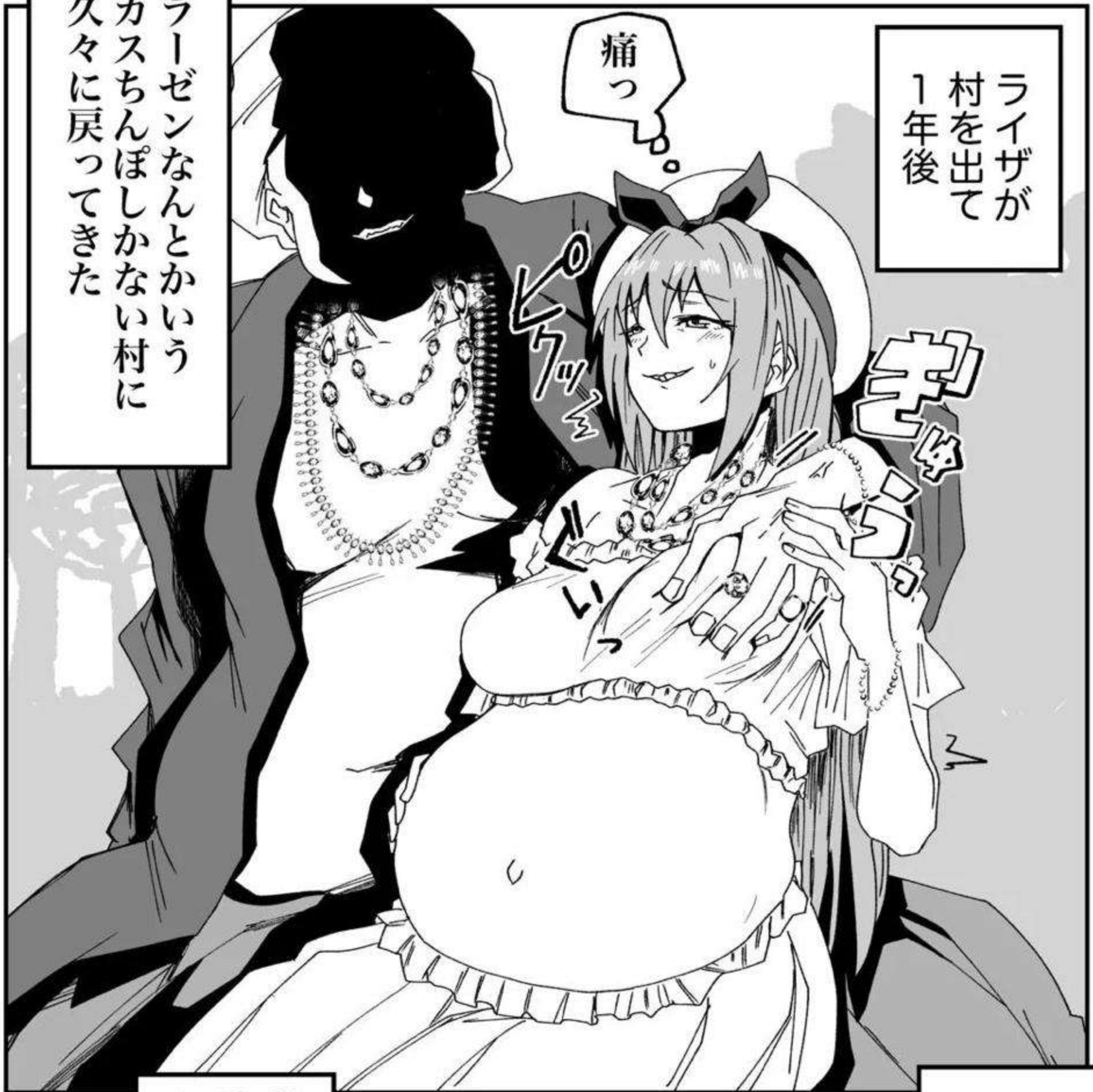
とんでもない
名器じゃないか

さー

ライザが
村を出て
1年後

痛っ

ラーゼンなんとかいう
カスちんぽしかない村に
久々に戻ってきた



なんか村に
幼馴染とか
いた気がするな

思い出せねー！
全部忘れたわ
ばーか！

どうでもよすぎ♡
はやくウチ帰って
セックスしたい

いまは
とっても
幸せです♡

